

報道関係者の皆様

「醍醐コミュニティバス・利用者20万人突破記念セレモニー」

醍醐地域にコミュニティバスを走らせる市民の会

会長 村井信夫

日頃より「醍醐地域にコミュニティバスを走らせる市民の会」への温かいご支援やご協力、ほんとうに有り難うございます。本年2月16日に運行を開始いたしました醍醐コミュニティバスは、おかげさまで、12月9日(木)に利用者数が20万人を突破する見込みとなりました。1年に満たない短い期間でこれだけ多くの皆様に醍醐コミュニティバスをご利用いただけたことは、多くの苦勞を重ねてバス事業を立ち上げてきた私たちにとりまして大きな喜びであり、今後、さらに醍醐コミュニティバスを発展させていくための勇気と希望が湧いて参ります。

この記念すべき機会に利用者の皆様にささやかな感謝の気持ちを捧げるセレモニーを下記の通り、開催することにいたしましたのでご報告させていただきます。

記

日時 12月9日(木)午後1時~2時

場所 地下鉄醍醐駅前前の醍醐コミュニティバスバス停周辺

実施内容

午後1時台に地下鉄醍醐駅前への下記の到着便から最初に降車されるお客様(各便1名様)と、日頃、安全運転とあたたかいおもてなしを提供して下さっているヤサカバスの運転手さん(代表1名)に感謝状と記念品(醍醐在住女性手作りの花をあしらったクラフト)を市民の会から贈呈します。

***「地下鉄醍醐駅前・パセオダイゴロー西館前」...外環状線北行き車線沿いのバス停にて**

1号路線 午後1時16分(地下鉄醍醐駅前・パセオダイゴロー西館前)到着便

3号路線 午後1時15分(地下鉄醍醐駅前・パセオダイゴロー西館前)到着便

***「地下鉄醍醐駅前」...外環状線南行き車線沿いの「北寄り」のバス停にて**

(パセオダイゴロー東館(アルプラザ醍醐店)沿いにはバス停が2カ所あります)

2号路線 午後1時42分(地下鉄醍醐駅前)到着便

4号路線 午後1時39分(地下鉄醍醐駅前)到着便

ご質問お問い合わせ等は、下記までお願いいたします。

醍醐地域にコミュニティバスを走らせる市民の会

事務局 電話 / F A X 075-575-2616

醍醐コミュニティバス これまでの利用客数等に関するご報告

醍醐コミュニティバスに関しまして、いろいろとご協力いただきまして誠にありがとうございます。醍醐コミュニティバスは、2月16日の運行開始からの累積利用客数が、12月9日で20万人を突破する見込みです。

運行開始からこれまでのご利用状況等に関する情報をお知らせいたします。

・ 運行の状況

2月16日(月)から11月30日(火)まで、運休はありません。(運行率100%)
定時性はおおむね良好で、ほとんどの便は2～3分以内の遅れで運行しています。

・ 利用者数の動向

11月30日まで(289日間)の累計は、194,443人となっています。これまでの1日当たりの平均のご利用者数は673人となっていますので、この推移でご利用があると考えたと12月9日(298日目)に20万人を突破すると予想されます。

1日当たりの平均利用者数は、当初の目標としていました1日500人を大幅に上回っています。

これまでの月別の1日当たり平均利用者数の推移を概観しますと、運行開始当初の2月は531人でスタートしましたが、3月には654人と増加し、4月には1,288人と1,000人をこえるご利用をいただきました。4月の前半は醍醐寺への花見客の多い時期でもありましたので、特にこの期間は大幅に利用者が増えています。その後、5月には553人、6月には517人と利用者が減少する傾向を示しましたが、夏休みに入る7月には570人、8月には611人と利用者が増えました。なお、この時期には、夏休み特別企画の「醍醐わくわくどこでも切符」の発売や子どもたちを対象としたイベント企画(醍醐エコまち探検など)を行うなど地域での利用促進活動を展開しました。さらにその後、9月には600人となり、10月には635人と増加しています。また、秋の観光シーズン本番の11月には704人と利用者数がかかなり伸びている状況にあります。

全体として、醍醐コミュニティバスは、地域住民への浸透が進んできていると思われませんが、日によって変動もあります。今後、観光オフシーズンとなる冬場を迎えるに当たって、なお一層の利用促進に向けて努力していく必要があると考えています。

なお、利用者数の計算方法は、これまでお知らせしてきた方法(3月9日付・4月16日付報告等)と同様です。

・ バス停の新設と路線の変更

地下鉄石田駅開業にあわせて、バス停「地下鉄石田駅前」を新設しました。小栗栖(1号路線)、池田(2号路線)、日野(3号路線)方面から地下鉄へのアクセスが便利になっています。

1号路線小栗栖線を、小栗栖中学校方面を経由するように路線変更しました。

・ 記念切符の発行

20万人突破を記念して、記念一日乗車券を発行いたします。期間は、突破日から2週間程度。乗車時にバス車内で購入できます。

(参考) これまでに発行してきた記念切符

2月 運行開始記念一日乗車券

3月 醍醐寺カルティエ工展記念一日乗車券

7月 利用者数10万人突破記念一日乗車券

7月(夏休み特別切符)「ファミリー乗り放題切符」、「小中高生用乗り放題切符」

9月 京都まつり・伏見区民パレード隊参加記念一日乗車券

12月 利用者数20万人突破記念一日乗車券

これらの記念切符と通常の日券をあわせて、約4万5000枚の日券を発行して参りました。京都造形芸術大学の奈良磐雄先生のデザインによるもので、チョコロQと同様に大変人気があります。

なお、「醍醐コミュニティバスの日乗車券は幸運のお守りになる」ということでも親しまれています。特に受験のお守りとして、「みんなで通す」、「どこでも通る」との語呂合わせもあるようです。

利用者数20万人突破記念一日乗車券見本



連絡先

ヤサカバス 075-692-2360

醍醐コミュニティバス事務局 075-575-2616